



子供たちの夏休みが始まります

令和7年度がスタートしてあっという間に4か月です。その間、保護者及び地域の皆様には、本校教育活動に対しまして御理解・御協力を賜りありがとうございました。感謝申し上げます。

今年の夏休みは、週休日を含めると7月22日から8月31日までの長期間となります。子供たちには、その期間を活用して普段の生活では経験できない「夏休みならではの」のできることを見つけて取り組んでほしいと思います。計画的に毎日過ごすこと、継続して何かに取り組むことなど、有意義に過ごしてほしいと思います。夏休みをどのように過ごすかで、休み明けの学校生活が変わってくるとも言われます。生活リズムを整え、健康で充実した休みになるよう御家庭や地域での御支援をお願いいたします。

さて、一般的に夏は開放的になりやすいと言われていています。ちょっとした気の緩みが、飛び出し等の交通事故、水難事故につながることもありますので、子供たち自身で身を守れるよう、各御家庭におきましても御指導くださるようお願いいたします。本校は、鉄道、河川、用水路、幹線道路など、地域において注意を払うべき状況が多いと考えています。保護者及び地域の皆様には、引き続き、お力添えくださいますようお願いいたします。

子供のお手伝い参加と親子関係

「休み中の子供の手伝い」について考えてみたいと思います。大人が忙しいところに手伝いの面倒もみりとなると、結局二度手間になってしまっていて……、と感じるかもしれません。また、休みに入ってお願いしたところで、お子さんからは「お手伝いは面倒」と言われるかもしれません。家庭は社会生活の根本であり、家族のそれぞれが特性や人格を認め合うことで成り立っています。今後、お子さんが自らの力で自分の未来を力強く切り拓いていくことを考えると、その基本となる家庭の中で「自立」し、お手伝いを通して家族の中で「役に立つ存在」「頼りになる存在」として認められることは、将来、胸を張って外の社会に踏み出していくことにつながると思います。

『子供の家事（お手伝い）参加と親子関係』の研究によると、親子関係が良好で、積極的な会話が多いほど、子供の家事参加が多いという結果が出ています。とするならば、子供に手伝いをさせようとするのではなく、日頃から親子でたくさん会話し、学習や生活の相談に乗ったり、一緒に楽しい時間を共有したりすることで、子供は自然と家事に誘われ、「やらされている」ではなく「役に立ててうれしい」となっていくのではないのでしょうか。もちろん言葉かけも、「お手伝い忘れてるよ!」ではなく、「忘れちゃった?じゃ、今から一緒にやろうか。」と、共に作業をしながら家族の会話も増やすこともできます。そして「今日も助かったよ。いつもありがとう。」と伝えることが大切です。

安全を確保しながら子供に手伝いを任せるのは、傍で見ている大人にとって「我慢する時間」のほうが多いと思います。しかし、家族の中で一人前として認められることは自己存在感を高め、最終的には、自分に対する「誇り」をもつことにつながると思います。お手伝いも重要な家庭教育です。

「育児とは育自なり」これは、輝けお寺の掲示板大賞で、協会賞を受賞した熊本県の西照寺の作品です。我々は、我が子のことになると「つつい」ということはありませんか。「うちの子はこれが足りない。」「ここはなおさないよ。」と、やきもきして「なぜできない!」と歯がゆくなる。親としての願いと言えば聞こえはよいかもしれませんが。児童精神科医の佐々木正美先生は、子育てでは「親の考えや希望を優先させないこと」が大切であるとおっしゃっています。我が子のプライドを守るために、親が世間体を犠牲にできること、子供のためにいつでも泥をかぶってあげることが一番の愛情だとしています。子供たちは経験が少ないわけですから、まだまだ未熟で未完です。だからと言って、60点や85点ではないのです。生まれてきてくれただけで「100点満点」なのです。

子育ては自分育て。我が子に感謝しながら、楽しいお手伝いの時間、会話の時間を確保してみたいかがでしょうか。我々大人にとっては、「根気と忍耐」も育自ですね。子供に感謝。 《文字が多くて申し訳ありません。》

学校行事は子供を成長させる

6月25日(水), オープンスクールと合わせて, 本校の伝統行事「やなせフェスティバル」を開催しました。主催は児童会代表委員会(フェスティバル実行委員会), 活動の単位は「縦割り班」です。当日は, 多くの御家族の皆様, 地域の皆様に御参観いただきました。お忙しい中, 学校までお運びくださいましたことに感謝し, 心からお礼申し上げます。さて, 学校行事は非日常です。つまり, 子供たちの成長のチャンスです。当日まで, 実行委員は成功に向けた協議を重ね, 各縦割り班はアトラクションの決定や他の班との調整, 準備物の作成に取り組んできました。アトラクションは昨年とはまた違って, 子供たちのアイデアや考えが活かされていました(担当教員の伴走姿勢に感謝です)。本番まで, 実行委員は説明や挨拶のビデオ録画, 縦割り班は, お客さんが楽しめる遊び方か, 入ってみたいと思える看板になっているかなど, 6年生を中心に活動してきました。活動後の振り返りでは, 「お客さんがたくさん来てくれて嬉しかった。」「自分の担当する仕事がうまくできた。」「家族が自分の班で遊んでくれてうれしかった。」「その時その時で, 進行について自分なりに判断できるとよかった。」「当日は想定外の忙しさ。みんなよく対応していてすごいと思った。」などが出ていました。また, 本部席にも問い合わせがあったようで, 活躍の場となりました。子供は, たくさんの大人に認めてもらい, 褒められることで自信を深めていきます。参観者の皆様で多くの児童を褒めてくださり心から感謝いたします。お陰様で, フェスティバルではたくさんの笑顔があふれていました。御参観の皆様, 見守り隊の皆様, 大変お世話になりました。「ともに進む」



宇都宮市小学校水泳競技大会

7月11日(金), ドリームプール河内にて開催されました, 宇都宮市小学校水泳競技大会に参加しました。主催は, 宇都宮市小学校体育連盟です。今回で55回目となる伝統のある大会です。参加校は市内の公立, 国立, 私立の計71校。全小学校を4つのブロックに分けて実施します。本校はAブロックに所属し, 5, 6年生の代表児童が出場しました。本番では, それぞれに練習の成果を発揮してくることができました。参加態度もやなせの子らしく誠実に, 他校の児童も応援しながら参加しました。応援に駆けつけてくださいました選手の御家族の皆様には, 心より感謝いたします。また, 練習指導に全員で協力した職員にも感謝です。

私事で恐縮ですが, 大会運営側から, 今回初めて応援側で参加しました。その中で, やなせのよさを改めて実感しました。サブの児童が「お疲れ様」と, 戻った児童に声をかける姿, 緊張する児童にそっと寄り添う姿, 他校の児童にも「頑張れ」と声援を送る姿。何気ない光景ですが, 誠実さ, 素直さ, 優しさが伝わり, その都度グッときました。

